

第4学年 学級活動（人権）学習指導案

1 主 題 だれもが大切にされる学級

2 主題設定の理由（省略）

3 ねらい

いじめの構図に気付き、弱者の痛みに関心し、自分ができることを考え、よりよくかわっていかうとする態度を養う。

4 指導計画（全9時間）

(1) これまでの学習（6時間）

○学級活動「聞き方上手あいうえお」（ひかり）・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1時間

○学級活動「“ステキな行動”を見つけよう大作戦」・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2時間

○道徳科「友達関係のスキルトレーニング」・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2時間

○道徳科「だからわるい」（ひかり）・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1時間

(2) 現在の学習（2時間）

○学級活動「だれもが大切にされる学級」（1時間）・・・・・・・・・・ 2時間（本時2／2）

(3) これからの学習（6時間）

○総合的な学習の時間「ハートフル〇〇」・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6時間

5 本時の学習

(1) 目 標

いじめに関心し、弱者の立場に立って考え、自ら進んで解決しようとする意欲を高める。

(2) 普遍的な学習のテーマ 仲間づくり

(3) 展 開

学 習 活 動	指導上の留意点
1 前時を振り返り本時のめあてをつかむ。	1 これまでの学習でいじめが起きる場面や原因について分かっていることを想起させ、本時の学習の方向付けをする。
2 事例を読み、自分が「わたし」だったら、次からどうしたらいいか考え、話し合う。 ○ みなこさんやその家族の気持ちを考える。 ○ みなこさんのつらい気持ちに対してできることと、ゆみさんの悪口をとめる方法について考える。 ○ わたしになって、ロールプレイをする。 (みなこさん、ゆみさんに実際に働きかける。) ○ よりよい解決の方法を決める。	2 事例を読み、いじめであるかどうか考えるどう解決すればいいか、そのためにどう行動すればいいか具体的に考えさせる。 ○ 無視されたみなこさんやその家族の気持ちを考えるとともに、いじめに加担してしまったことの重大さに気付かせる。 ○ つらい思いをさせたみなこさんに対して、何を言うか、悪口を言っているゆみさんにどう言ってその行動をとめるか、具体的な台詞を考える。 ○ 順に役割を代えて、ロールプレイをする。 ・わたし ・みなこさん ・ゆみさん ・観察者 ②
3 これまでの生活を振り返る。	3 いじめだと思ふ場面に出合ったとき、これからどんなことができるか、どう行動していくかを考えさせる。
4 本時のまとめをする。	4 だれもが大切にされる学級になるための行動目標を決める。 ①

(4) 評価

○誰もが大切にされる学級になるよう、これから自分にできることを考え、行動しようとする意欲を高めることができたか。 (価値的・態度的側面) ①

○友達の意見をしっかりと聴いて、自分の考えを進んで発表することができたか。 (技能的側面) ②